

## オスプレイなど米軍機の低空飛行訓練中止を求める意見書

米軍岩国基地に陸揚げされた、米海兵隊垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイが、10月に普天間基地に配備され、その後「市街地上空飛行の回避」などの日米合意も無視した訓練が進行されています。

訓練ルートが全国的に設定され、オレンジルートの四国・徳島県でも県民の不安は高まっています。

徳島県では、これまで低空飛行訓練が20年余行われ、早明浦ダム近くに墜落し乗員2名が死亡する事故も起こりました。また、通常コースを大きく離れた低空飛行が住民を驚かせています。

オスプレイは積載量を3倍にするなど、兵員や武器の輸送能力を高めていますが、モロッコやフロリダで墜落するなど、多数の死者を含む大きな被害を与えて、その危険性が問題となっています。

徳島県民を含む全ての人々の安全のために、徳島県並びに日本国土上空でのオスプレイなど米軍機の低空飛行訓練が行われないう、強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年12月18日

鳴門市議会